

まなび i 岩小スタイル

R3.6月作成

学習活動×ICT

Miyagi touch

教師による教材の提示や書き込み機能を生かした視覚的支援により児童の学びを深める。

ロイロノート

カード作成によるプレゼンテーションや互いの意見の共有、グループによる表現物の共同作成など、児童が考えを共有しながら進める協働的な学びを推進する。

タブレットドリル

個に応じた学びをサポートし、習熟による学習内容の定着を図る。

プログラミング

ビジュアルプログラミング教材「Scratch」を基軸とした6年間の系統性をもったプログラミング教育を推進する。



校務×ICT

岩小ポータル（Google サイト）

校内クラウドコンテンツのプラットフォームとしての役割を担う。今ほしい情報を手元で確認できる安心感と見通しをもつ。

ハングアウト・共有スプレッドシート

児童の出欠状況、防災・防犯関連など、情報共有の迅速化によって、適切でフレキシブルな対応を行う。

Google ドライブによる情報管理・ペーパーレス化

クラウド活用によるUSB紛失等、情報に関する事故の防止。共有ドライブによる職員間の共同編集やPDFを利用したペーパーレス化を実現する。

Google スライド行事黒板の活用

急な予定変更にも対応した行事黒板の遠隔処理。Google スライドに対応した学校日誌による日直業務の円滑化を図る。



授業研究×ICT

学習理解を深めるための最適なアプリ活用

ロイロノートや Miyagi touch 等アプリがもつ強みを教員が理解し、学習に適したものを選択・活用することで、効果的に指導に生かす。

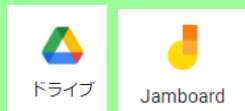
Google ドライブを活用した指導案共同編集

研究授業に関わる学年のすべての教員が、指導案作成により、協働による授業づくりを推進する。

ジャムボードを活用した事後検討会の充実

ジャムボードによるワークショップ資料作成により、事後検討会において、授業に関するより多くの対話を生み出し、実り多い研修につなげる。

研究の足跡を見える化し、課題のリレーに生かす。



岩小リモートスタイル

在宅学習時のリモート家庭学習支援

ロイロノートやタブレットドリルを利用したリモート支援により、子どもの学びを止めない手立てを講じる。

小中の接続を意識したリモート支援

（Google クラブルーム、Google ミート）

Google アカウント、Google クラブルームの利用により、中学校のリモート学習への円滑な接続を行う。

個に応じた学校からのメッセージ送信

家庭や児童とのつながりや関わりをもつための手立てとしてデバイス活用する。

